

AI・ディープラーニングの活用リテラシーを身につける!

担当スクール

資格の学校
TAC

G検定(ジェネラリスト検定)試験対策講座

試験概要

受験資格

特になし

合格実績
全国合格率

73.39%

※2024年第6回試験結果

募集要項

▶申込期間は延長する場合がありますので、関大生協ホームページを随時確認してください。
▶受験料については各試験団体にお問い合わせください。

講座ガイダンス

詳細はこちらからご確認ください



コース名	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料	試験日(オンライン実施(自宅受験))
G検定試験対策Webコース (Web講義動画:総時間約10時間、添削課題:3回)	随時開講	Web	随時受付	アカウント取得から 6ヵ月の受講期間	39,600円	2025年のG検定は6回開催 (1月、3月、5月、7月、9月、11月)

※事前収録された講義動画をWeb視聴して頂く学習スタイルです

学習スケジュール(開講期間)

随時開講(アカウント取得から6ヵ月の受講期間)

G検定とは

G検定(ジェネラリスト検定)は、日本ディープラーニング協会(JDLA)が提供するAI・ディープラーニング活用のためのリテラシー(活用する能力)を有しているかを検定する試験です。機械学習や深層学習、それぞれの方法論や事例など、AIがビジネスで活用されるこれからの時代に必要な知識が出題範囲となります。また、デジタルリテラシーはすべてのビジネスパーソンが学ばべき知識として、経済産業省がオブザーバーを務めるデジタルリテラシー協会がAI・ディープラーニングの領域に関し、G検定の受験を推奨しています。

G検定の学習内容(一例)

体系的にAI・ディープラーニングを学習することで、「AIで何ができて、何ができないのか」「どこにAIを活用すればよいのか」「AIを活用するためには何が必要か」が理解できるようになり、データを活用した新たな課題の発見やアイデアの創出が可能になる、デジタル施策の推進に自信が持てるようになるなど、あなたのビジネスやキャリアの可能性が飛躍的に広がります。

こんな方にオススメ

- DX時代に対応できる人材として、デジタルに関する基礎リテラシーを身につけたい方
- AI、ディープラーニングについて基本的な概念や構造を知りたい方
- AI、ディープラーニングでどんなことができるのか知りたい方

ニーズ大!ITの安全な利活用を推進するための知識が身につく!

担当スクール

資格の学校
TAC情報セキュリティマネジメント試験
対策講座

試験概要

受験資格

特になし

合格実績
全国合格率

69.1%

※2024年度4月~12月の
統計データ

募集要項

▶申込期間は延長する場合がありますので、関大生協ホームページを随時確認してください。
▶受験料については各試験団体にお問い合わせください。

講座ガイダンス

詳細はこちらからご確認ください



コース名	開講時期	受講形態	申込期間	開講期間	受講料	試験日(CBT試験)
情報セキュリティマネジメント 試験対策 Webコース (Web講義動画:8テーマ×30分、添削課題:4回)	随時開講	Web	随時受付	アカウント取得から 8ヵ月の受講期間	24,200円	全国の試験会場で随時実施

※事前収録された講義動画をWeb視聴して頂く学習スタイルです

学習スケジュール(開講期間)

随時開講(アカウント取得から8ヵ月の受講期間)

情報セキュリティマネジメントとは

組織が情報セキュリティを確保することに貢献し、情報漏洩やウィルスによるサーバー攻撃などの脅威から組織を守るための基本的な知識・能力があるかを認定するための試験です。試験では、情報セキュリティマネジメントの計画・運用・評価・改善を行うための知識が備わっているかを問われます。情報社会である現在社会において、情報セキュリティマネジメントの能力は、様々な業種で必要とされています。

情報セキュリティマネジメント資格の学習内容(一例)

科目A試験

科目A試験の出題内容は、情報セキュリティの考え方や情報セキュリティ管理の実践規範、各種対策、情報セキュリティ関連法規などが重点分野です。また、ネットワークやシステム監査、経営管理などの関連分野の知識についても問われます。

科目B試験

科目B試験は、現場での情報セキュリティ管理業務について、具体的な取組みのケーススタディによる出題から、情報セキュリティ管理の実践力を問う試験です。情報資産管理やIT利用における情報セキュリティ確保、リスクアセスメント、情報セキュリティ教育・訓練、委託先管理などが出題されます。